

## 神経研究の進歩 総目次

1956年～1968年（1巻1号～12巻1号）

- 1巻1号 '56年1月  
神経系疾患の診断法（Ⅰ）
- 1巻2号 '56年4月  
神経系疾患の診断法（Ⅱ）
- 1巻3号 '56年8月  
代謝障害と神経疾患（Ⅰ）
- 1巻4号 '56年12月  
代謝障害と神経疾患（Ⅱ）
- 2巻1号 '57年4月  
脳の生理に関するシンポジウム
- 2巻2号 '57年10月  
脳腫瘍
- 2巻3号 '58年3月  
第1回国際神経科学会展望（Ⅰ）
- 2巻4号 '58年5月  
第1回国際神経科学会展望（Ⅱ）
- 3巻1号 '58年10月  
第1回国際神経科学会展望（Ⅲ）
- 3巻2号 '59年1月  
肝脳疾患（Ⅰ）
- 3巻3号 '59年4月  
肝脳疾患（Ⅱ）・小脳
- 3巻4号 '59年9月  
錐体外路系（Ⅰ）
- 4巻1号 '59年11月  
錐体外路系（Ⅱ）
- 4巻2号 '60年1月  
展望・脊髄血管障害例
- 4巻3号 '60年8月  
神経化学懇話会
- 4巻4号 '60年8月  
興味ある症例の臨床と病理
- 5巻1号 '60年10月  
第1回神経病理懇話会
- 5巻2号 '61年5月  
脳血管性障害（Ⅰ）
- 5巻3号 '61年9月  
脳血管性障害（Ⅱ）
- 5巻4号 '61年12月  
脳血管性障害（Ⅲ）・精神薬理
- 6巻1号 '62年3月  
脳炎・膠質細胞（第2回神経病理懇話会）

- 6巻2号 '62年7月  
小児神経病学
- 6巻3号 '62年9月  
第4回神経化学懇話会特集号
- 6巻4号 '62年11月  
神経解剖
- 7巻1号 '63年1月 ￥1,400  
脳腫瘍（第3回神経病理懇話会）
- 7巻2号 '63年3月 ￥1,200  
神経疫学・診断検査法
- 7巻3号 '63年6月 ￥1,400  
脳研究のあゆみ
- 7巻4号 '63年8月 ￥1,200  
第5回神経化学懇話会特集号
- 8巻1号 '64年1月 ￥1,200  
末梢神経（第4回神経病理懇話会）
- 8巻2号 '64年4月 ￥1,200  
奇形性神経疾患
- 8巻3号 '64年7月 ￥1,300  
第6回神経化学懇話会特集号
- 8巻4号 '64年11月 ￥1,000  
視床一構造・機能・臨床
- 9巻1号 '65年3月 ￥1,000  
蛍光抗体法とVirus性脳脊髄炎
- 9巻2号 '65年7月 ￥1,000  
代謝性神経疾患  
ミオパチーの疫学と臨床
- 9巻3号 '65年9月 ￥1,000  
第7回神経化学懇話会特集号
- 9巻4号 '65年12月 ￥1,000  
神経シンポジウム  
9巻4号まで売切れになっています。
- 10巻1号 '66年3月 ￥1,000  
脳のシンポジウム
- 10巻2号 '66年7月 ￥1,000  
第8回神経化学懇話会特集号
- 10巻3号 '66年10月 ￥1,000  
脳のシンポジウム
- 10巻4号 '66年10月 ￥1,000  
第7回神経病理学会特集号
- 11巻1号 '67年3月 ￥1,000  
いたみ
- 11巻2号 '67年8月 ￥1,250  
日本脳炎

11巻3号 '67年10月 ¥ 1,250

脳のシンボジウム

11巻4号 '67年12月 ¥ 1,250

第8回神経病理学会

'68年4月 第12巻 第1号 1,900円

## 【特集 精神薄弱】

巻頭言……………菅 修  
 人脳发育の形態学的考察……………溝口史郎  
 脳发育とその化学的構成……………松谷天星丸・他  
 精神薄弱の脳波……………中川四郎  
 脳の奇形—脳の形態形成障害と

その機序—……………村上氏廣  
 遺伝学よりみた精神薄弱……………井上英二  
 精神薄弱の臨床……………小林提樹  
 染色体異常……………坪井孝幸・他  
 双生児の研究……………詫摩武俊  
 実験的フェニルケトン尿症……………平野修助  
 フェニルケトン尿症の臨床……………高井俊夫・他  
 フェニルケトン尿症の脳病理……………前田進  
 フェニルケトン尿症の遺伝と統計……………田中克己  
 アミノ酸代謝異常症—知能障害の

成因に関する考察……………多田啓也・他  
 先天性代謝異常症—アミノ酸

代謝異常を除く—……………北川照男  
 脂質症—最近の知見について—……………横井晋  
 内分泌障害による精神薄弱……………鎮目和夫  
 子宮内中毒による精神薄弱……………立津政順  
 新生児脳障害と精神薄弱……………有泉基水・他  
 低血糖と精神薄弱……………小宮和彦・他  
 先天異常の原因としての胎内

ウイルス感染……………松山春郎  
 妊娠中毒症と精神薄弱……………森山豊  
 奇形—とくに臨床病理学的立場から—……………浜田晋  
 Phakomatose (母斑病) の病理……………室伏君士  
 神経疾患と精神薄弱—変性疾患を

中心として—……………近藤喜代太郎  
 てんかんと精神薄弱……………大田原俊輔  
 精神薄弱の疫学的検討……………近藤喜代太郎  
 精神薄弱の医学的および社会的対策……………菅野重道

## 【古典のページ】

Asbjörn Fölling の Imbecillitas

Phenylpyruvica について……………黒川正則

精神薄弱に関連する代謝異常としての

フェニール焦性葡萄糖の尿中排泄に

ついて……………Asbjörn Fölling

萬年甫・共訳  
今野公和

Down 症候群について……………井上英二

9例の蒙古症児の身体細胞染色体の

研究……………Jérôme Lejeune  
Marthe Gautier  
Raymond Turpin  
菅野重道・訳

'68年8月 第12巻 第2号 1,250円

## 【特集 脳研究の進歩】

脳研究所30年のあゆみと展望……………時実利彦

細胞核のレベルからみたノイロンと

グリア……………黒川正則・他

水平半規管系求心路の前庭神経核内

ニューロン機構……………島津浩

運動野と体性感覚野から視床などへ

の投射……………草間敏夫・他

Olive 核を中心とする解剖学……………岡本道雄

脳幹部呼吸性ニューロンの逆方向性

ならびに順行方向性刺激応答……………福原武彦・他

ヘルペス脳炎の病理成因について……………山本達也

Hallervorden-Spatz 病の病因論……………白木博次

Genetics of Epilepsy: A Review……………Eiji Inouye

臨床脳波学の進歩……………佐野圭司

大脳誘発電位とその臨床的応用……………黒岩義五郎・他

脳血管性障害における優位半球障害……………勝木司馬之助・他

核間性眼筋麻痺, Oscillopsia, 小脳

症状などを示す3症例……………塚越広・他

脳浮腫の研究……………植木幸明

東京大学医学部脳研究所のあゆみ……………武村信義

## 【座談会】

神経研究の将来

## 【原著】

光に過敏なてんかんについて……………丸山和子・他

脳動脈攣縮の実験的研究……………田中輝彦

## 【書評】

西園昌久著：薬物精神療法……………土居健郎

上村卓也・他著：神経耳科学検査法……………椿忠雄

David H. Clark 著 (鈴木淳訳)：

精神科医の役割……………岡田靖雄